

★★★ <第24回知的財産翻訳検定試験【第13回和文英訳】> ★★★

<< 2級課題 >>

【解答にあたっての注意】

1. 問題は3題あります。それぞれの課題の指示に従い、3題すべて解答してください。
2. 問題文に段落番号がある場合、これを訳文に記載してください。
3. 必要に応じて添付図面を参照してください。

問題 1.

下記の【請求項 1】～【請求項 3】を、米国出願用に英訳してください。

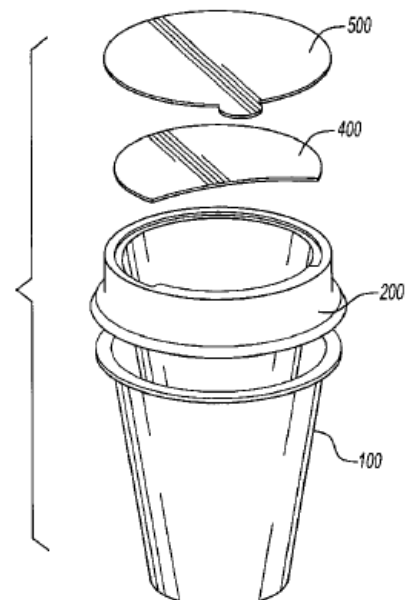
【請求項 1】

食料容器であって、前記食料容器が、  
流動性を有する粉末食料を保持する内部カップであって、該内部カップが開口部とフランジとを有する内部カップと、  
前記内部カップを受け止め、前記内部カップと前記外部カップとの間に液体食料を保持するためのスペースを有する外部カップであって、前記フランジが前記液体食料を吐出する少なくとも1つの開口部を有し、前記外部カップの開口端と液密状態で組み合う外部カップと、  
前記内部カップの前記開口部の部分を覆い、前記粒子状食料を吐出するための切り欠き部を有する蓋部とを  
含み  
前記容器を傾けることによって、前記粒子状食料を前記内部カップの切り欠き部を介して吐出し、かつ前記液体食料を前記少なくとも1つの開口部を介して同時に吐出する食料容器。

外部カップ：100

内部カップ：200

蓋部：400



### 【請求項 2】

前記内部カップが調理済みのシリアルである粉末食料を含む請求項 1 に記載の食料容器。

### 【請求項 3】

吸引力が前記開口部に作用しなければ液体食料がそこから流出することを防ぐ開口部である請求項 1 に記載の食料容器。

### 問題 2.

下記の文章は、ある特許明細書の一部（従来技術の記述部分）を抜粋したものです。

これを米国特許出願用英語明細書として英訳してください。

なお指定用語がありますのでそれを使って翻訳してください。

### 【背景技術】

水溶液中ではヒ素は 3 価および 5 価のヒ素として存在し、両者は化学的性質が異なる。このため、このヒ素の化学的な状態を把握することが求められている。

近年、工場廃水等の微量なヒ素まで回収する必要性が高まっており、同時にヒ素の価数に基づく正確でありかつ迅速な分離方法及び分析方法が要望されている。

特許文献 1 には、pH 3～8 に調整したヒ素含有サンプルを陰イオン交換樹脂カラムに通して、5 価のヒ素のみを樹脂に吸着させる技術が記述されている。

特許文献 2 には、水相中の全ヒ素のうち 3 価のヒ素を ICP-OES によって分析可能な状態に変換したのち分析し、ついで 5 価のヒ素は 3 価のヒ素に還元して ICP-OES によって分析する技術が記載されている。

### 【特許文献 1】

特開 2006-123456 号公報

### 【特許文献 2】

特開 2006-789012 号公報

### 【発明の概要】

#### 【発明が解決しようとする課題】

ところで、特許文献 1 に記載された方法では、3 価および 5 価のヒ素の分離が不十分になりやすく、特に 3 価および 5 価のヒ素の濃度に差があるときは、正確な測定ができなくなるのが予想される

特許文献 2 に記載された方法では、煩雑な操作が必要であり、抽出前の処理で価数が変化する可能性がある。

これらの理由から、サンプルを含む水溶液を処理する操作を少なくし、短時間のうちに分離できる測定方法が求められていた。

### ※参考情報 1 (翻訳不要)

【課題】 3価と5価のヒ素を迅速かつ精度よく測定することを可能にする。

【解決手段】 本発明は、3価のヒ素、および5価のヒ素を含むヒ素含有溶液から、それぞれの価数のヒ素を分離する方法において、前記ヒ素含有溶液を、特定の溶離剤を用いて、逆相カラムに通液することを特徴とする方法である。

### ※参考情報 2

I C P - O E S 法 : Inductively Coupled Plasma - Optical Emission Spectrometry 誘導結合プラズマ発光分光分析法

※指定用語 : 陰イオン交換樹脂カラム : anion exchange resin column

イオンの価数 : 名詞 valency、形容詞 valent

### 問題 3.

下記の文章は、ある特許明細書の一部（実施形態の記述部分）を抜粋したものです。これを米国特許出願用英語明細書として英訳してください。

【発明を実施するための形態】

【0023】

以下、本発明の実施形態について図面と共に説明する。

〈装置構成について〉

図1は、車両に搭載される駐車補助装置の概略構成を示す模式図であり、図2は、この装置の制御系を示すブロック図である。

【0024】

駐車補助装置1は、車両の前方を撮影する前方カメラ10と、車両の後方を撮影する後方カメラ15と、車両と車両の前方に位置する障害物との距離を計測する前方センサ20と、車両と車両の後方に位置する障害物との距離を計測する後方センサ25と、映像を表示するモニタ30と、音声を発するスピーカ35と、両カメラ10、15で撮影された画像または両センサ20、25で計測された距離に基づいて、モニタ30、スピーカ35を制御する制御部40と、を備えている。

【0025】

前方カメラ10および後方カメラ15は、CCD素子またはCMOS素子からなる受光部を有し、広角レンズを介して受光部が受光し、デジタル画像を撮像するものである。そして、前方カメラ10は、車両前方の予め規定された領域を撮影するように配置され、後方カメラ15は、車両後方の予め規定された領域を撮影するように配置されている。